

季節の花 ガーベラ
花言葉 ~希望、前進~



おかやま民医連

発行

岡山県民主医療機関連合会

岡山市北区下伊福西町 1-53

岡山県民会館 3F

TEL (086) 214-3911

2021年10月号 No.353

URL: <http://www.okayama-min-iren.org>

岡山県民医連 第43回 初のオンライン開催 ~学術運動交流集会~



ペシャワール会会長 村上優氏

「コロナ禍の今こそ地域を見つめ、無差別・平等の医療と介護の実践を推進しよう」をメインテーマとし岡山県民医連第43回学術運動交流集会が8月29日(日)に220名の参加で開催されました。当日は岡山県にも緊急事態宣言が発令されていますが、オンライン開催での準備を進めており予定通り開催できました。岡山県民医連の学術運動交流集会は隔年で開催しています。今回は、林精神医学研究所の林英樹実行委員長のもとで1年前より実行委員会準備を進めてきました。

全体会では、ペシャワール会会長の村上優氏に福岡のオフィスからオンラインで、「アフガニスタンに命の水をく生活、健康、平和を取り戻す」の講演をしていただきました。医療事業だけでなく人が生きていくために水と食糧をどう確保するか、温暖化が進む中で自然にどう折り合って人が共同して生活していくか、それを実践することで平和で無事な生活が営める。ペシャワール会の活動を知り心が動きました。

後半は、5つの分科会に分かれ31演題の発表がありました。発表は事前に録画したデータを再生し、質疑応答はオンラインでおこなう方式をとりました。参加者は自分が聞きたい演



分科会にも多くの方が参加されました

題のある分科会を行き来して発表を聞くことができました。演題は、コロナ禍での医療活動・地域での取り組みなどを中心に多様な県内での医療・介護・民医連運動についての発表があり、質疑も活発におこなわれました。

参加者からは、「村上氏(林道倫精神科神経科病院)の講演では、新聞報道とは違う現地の話が聞けてよかった」「自宅から手軽に参加でき負担が少なかった」との感想がありました。初のオンラインでの学術運動交流集会ですが、大成功だったと思います。

河本 悟

点 滴

国は「在宅で暮らす方の食費・居住費に係る公平性や負担能力に応じた負担を定める観点から」と、2021年8月から介護保険施設における食費の負担額見直しを実施した▼特別養老老人ホームや介護老人保健施設など介護保険施設の入所者のうち、所得の低い市町村民税非課税世帯の人には、食費や部屋代の負担を軽減する補助制度(補足給付)がある。補助額は年金収入や施設の種類によって変わるが、2005年に食費・部屋代が自己負担になったのを機に導入された▼2015年8月からは、一定の預貯金がある人と課税されている人は対象外にするなど要件が厳しくなった。そしてこの度の見直しでは、単身者の預貯金が1,000万円まで認められていたものが、500万円→650万円までとさらに要件が厳しくなった▼ショートステイのご利用者に至っては、負担限度額が収入に応じて390円→650円の負担限度額でよかつたものが、600円→1,300円と大幅に日々の負担が強いられることとなる。月額で2万円以上負担が増える方も多くなり、最大で6万円程今より負担が増える事例も出てくる。予測される▼介護を必要とすればならない状態の中で、将来を考えると蓄えてきた資産を削りながら不安と隣り合わせの日々を送ることは、公平な負担だとは思えない▼長年社会に貢献してこられた高齢者のみなさんが、最後まで敬愛され、幸福な人生を送ることができるよう、しっかりと支援こそが、国を挙げて必要であり、私たちはそれを支えるパートナーであり続けるためにも、私たちの活動を続けていかなければいけない。(D)

新型コロナウイルス感染症が流行して変わったこと…

① マラソン大会がなくなる
 以前は、1年に4回(春・鳥取、夏・函館、秋・岡山、冬・沖繩)参加していましたが、中止になりました。大会に参加したついでに観光を行っていたのですが中止になって残念です。

② 外国の文化に興味

コロナ感染の状況を知るために国際報道をみるようになり、その影響もあつて外国の文化に興味を持つようになりました。日曜日の午後は、ほぼ毎週丸善に行き、本を選び、表町の喫茶店でコーヒを飲みながら読んでいます。キリスト教や韓国の儒教についての本も読みました。

③ 英会話の勉強を開始 息子がインドに赴任中

眞鍋 良一
 (岡山中央病院院長)

なので、コロナが落ち着けばインドを旅行したいと思いついて、ラジオ英会話を聞いて勉強しています。



岡山マラソン (2019年)

将来を考える一助に ～高校生一日歯科体験～



倉敷医療生協歯科群では、毎年春と夏に高校生1日歯科医療体験を実施しています。岡山県全域の高校から多くの生徒が、歯科医療体験と医療生協の医療について学びに来ます。今年も7月・8月には、23名の高校生が歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士の体験に来てくれました。歯科の現場で各職種がどのように患者と関わり民生的集団医療を実践しているのか。初めて触れる医療の現場に、緊張感を感じながらも、興味とともに夢を持って体験しています。医療現場の見学や、自身の口内の状況確認、歯型を取って虫

歯治療の学習など様々な楽しい企画をしています。この体験を通して、チーム医療やその職種への憧れを強め、その後進学のケースも多数生まれています。今後も高校生が将来を考える一助となり、また歯科医療従事者として戻ってきて欲しいなど願っています。

牟田口 桂子
 (水島歯科診療所)



修了証授与

おいしいん坊が行く!

お取り寄せ編

「ザッハトルテの元祖、ホテル・ザッハーが全世界送料無料キャンペーンをしている」。たまたま流れてきたツイートに目が留まりました。甘党の私はまんまと釣られ速攻で公式HPへ。ドイツ語はさっぱりわからないけどザッハトルテは美味し

そう!調べてみると注文は英語で良いそうなので忘れかけの中学英語を駆使して、迷わず一番大きいザッハトルテと紅茶、ホットチョコレートを注文しました。ほどなくしてオーストリアはウィーンから、遠路遙々ザッハトルテが我が家に到着。金具のついた木箱に収められたザッハトルテはずつしり重く、箱を開けなくてもふんわりとチョコレートと杏子



美味いものは世界中に溢れています。自粛がまだまだ続きそうなこの機会に取り寄せてみてはいかがでしょうか? ※現在キャンペーンは終了しています。

吉田 幸奈
 (林道倫精神科神経科病院)



ホットチョコレート

災害時の医療を学ぼう

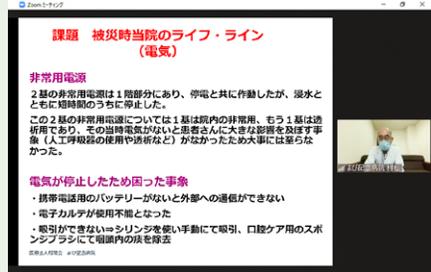
8月16日、医系学生向け企画「夏学習〜西日本豪雨災害から3年〜」をWEBで開催。2カ月間の事前学習を終え、県内外から12名の学生が参加しました。約330名の避難者を受け入れたまび記念病院の村松友義院長からは、被災当時の様子と病院再開までの苦労、検診車を駐車場に設置し住民の診療にあたった状況等が報告されました。

真備歯科診療所の小坂

勝巳前事務局長は、避難所への歯科支援や組合員訪問等を紹介。組合員からは「治療費が心配」という不安と、「医療生協の歯科にかかりたい」と、逆に職員が勇気づけられたそうです。また、署名運動にも取り組んで、全国初の医療費免除期間2年延長の成果についても話されました。学生からは「被災者が、慌ただしさや経済的なことから医療を後回しにしてしまう状況に、将来医療従事者となる者としてどのようなことがで

きるか考えたい」等の感想が出され、災害時の医療について深く考えさせられる企画となりました。

國塩 聖和
 (岡山県民医連事務局)



まび記念病院村松院長の講演の様子